

情報機器活用のねらいと効果

2 科学的な思考

学習指導の効果

生徒に考えさせ，その考えを押し進めさせることができます。

情報機器活用のねらい

考える材料となる写真を拡大して提示します。

課題を解決させたり規則性を見出させたりするとき，一度に何枚かの写真を並べて提示したり，拡大して提示した写真の中で見てほしい部分を指し示したりします。そのことにより，考え始めるきっかけや考えを押し進めるためのヒントとなる内容として，どの生徒にも考えるために役立つ資料を与えることができます。

考える材料となる図やグラフを拡大して提示します。

課題を解決させたり規則性を見出させたりするとき，図やグラフを比較しやすいように並べたり重ねたりして提示します。数枚の図を交互にくり返して提示します。図を提示して図の中の一部分を動かして見せます。図やグラフを提示し考えるためのヒントとなる部分を指し示したり説明を加えたりします。これらのことによって，生徒に考えさせその考えを押し進めさせることができます。

使用する情報機器

コンピュータとプロジェクタ

コンピュータ・・・写真，動画，図，表，プレゼンテーション資料を表示し，その信号をプロジェクタに送信します。

プロジェクタ・・・コンピュータから送信された写真，動画，図，表，プレゼンテーション資料をスクリーンに拡大して投写します。



授業について

授業での活用場面

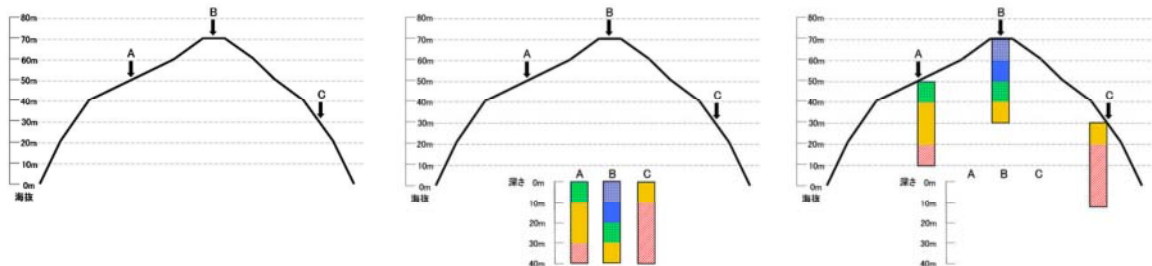
導入

展開

終末

授業での実践例 (1年生2分野「大地の変化」柱状図からわかる地層のようす)

考える材料となる図を拡大して提示し、図の一部を動かして見せています



写真や図を提示することで、言葉だけではわかりにくい内容についてもイメージを持たせることができ、生徒が考えやすくなります。さらに、図の一部を動かして見せることにより、考えを押し進めるヒントとしてわかりやすい資料とすることができます。

活用できる学習内容

学 習 内 容	活用するときのポイント
事物の類似点や相違点から課題を解決させる学習内容	考えさせたい事物についての写真を数枚並べて提示します。必要に応じて指し示しながら説明を加えます。
肉眼では観察が不可能なものを扱う学習内容	観察が不可能な事象を図やモデルで提示します。さらに図やモデルを動かして見せます。
実験結果から規則性を見出していく学習内容	各グループの実験結果について、各グループのグラフを並べたり重ねたりしたものや、一つのグラフにまとめたものを拡大して提示します。